

meiji 駿台倶楽部会報

明治大学野球部OB会ニュース

発行 駿台倶楽部
 会長 土井 淳
 府中市若松町5-6-1
 明治大学野球部合宿所内
 電話番号(042)313-4134
 F A X番号(042)364-5605

御大に届け!! 猪。パワーでつかんだ 38年の呪縛解いた 令和初代王者 やっぱり明治がNo.1 日本一



6度目の頂点!! 最上級生が牽引

イノシシが復活した明大が令和初の王者となった。東京六大学野球春季リーグ戦は4月13日に開幕。第2週から登場した明大は立大1回戦こそ零封負けを喫したが、そこから1分を挟む10連勝。5シーズンぶり、40度目の優勝を完全Vで飾った。

主将でエースの森下暢仁を先頭に、竹田祐(2年)が4勝をマーク。打線は1番添田真海、3番内山竣、4番北本一樹、5番喜多真吾という最上級生が牽引。添田は打率・400で初の首位打者も獲得する活躍だった。

10連勝の勢いはそのまま第68回全日本大学野球選手権にもつながる。ここでも4年の伊勢大夢が先発・救援にフル回転して2勝。森下も2完投と盤石の強さを発揮。決勝戦は佛教大を6-1で下し、38年ぶり6度目となる日本一を達成した。胴上げされた善波達也監督は「38年の歴史が繋がった」と名言を残し、井上崇通野球部長を真っ先に胴上げして喜びを爆発させた。

「38年の歴史が繋がった」



森下主将の自覚

「優勝すれば明大野球部が幸せになれると思って投げた」

初戦東洋大完封 決勝佛教大1失点完投

MVP
胸上げされる森下、下で喜びの輪の中でシャウトして喜ぶ。MVPと最優秀投手賞のトロフィーを手に笑顔。

第68回全日本大学野球選手権は6月10日に開幕。2回戦から登場した明大は福井工大、東洋大、東農大北海道を下し決勝に進出。佛教大相手に森下がMVPと最優秀投手賞を獲得、神宮に優勝した時に歌う「神宮勝」の大合唱が響いた。



シーズン0勝：伊勢悔しさ胸に

を全国大会でみせた。初戦の福井工大戦。先発した伊勢は序盤こそ失点したが、打線が援護してくれただけで好投。7回コールドに結びつけた。伊勢悔しさ胸に

2勝&最速更新151キ：相手を打線を翻弄(ほんろう)。

竹田が不安定で、3回からマウンドへ。自己最速を更新する151キをマークするなど、相手を打線を翻弄(ほんろう)。

(3)



努力と苦悩物語った 副将北本の涙

「左肩脱臼で手術しんどかった」

福井工大戦の6回2死1、二塁、左越え3ランを放ちガッツポーズする北本。首位打者賞のトロフィーを手に笑顔。

早大1回戦の同点打で「吹っ切れた」
大学選手権でも大暴れ/圏外538首位打者

目立たないよう目立ったのが5番の喜多だった。大学選手権の準決勝で豪快な3ランを放つと、決勝の佛教大戦の9回、タメ押しした走者一掃2塁打。仕事人のような男がリーグ戦同様の、全国の舞台でも輝いた。

「何か持ってるんすかね？」

10打点が達成できなかった悔しいと振り返る。納得できる成績は残せなくても初のベストナインを獲得。秋はさらにパワーアップした姿を見せるつもりだ。

善波監督の父・隆夫さん「歴史的な日」観戦

〇…日本の喜びを善波監督の父・隆夫さん(85)も一緒に味わった。「歴史的な日」と知って駆けつけました。

〇…決勝戦には多くのOBも駆けつけた。土井淳駿台倶楽部会長はじめ、フォークの神様といわれた杉下茂先輩(93)も姿を見せ後輩の活躍を見守った。

表彰選手表

最高殊勲選手賞	森下 暢仁(明大)
最優秀投手賞	森下 暢仁(明大)
首位打者賞	北本 一樹(明大)
敢闘賞	木下 隆也(佛教大)
特別賞	東農大北海道オホーツク

は実感がこもっていた。昨秋のリーグ戦中に左肩を脱臼。10月に手術したが重傷だった。首脳陣も「4月の開幕には間に合わない」と考え、主将候補は副主将を任せられた。一他の選手が練習しているのにずっとリハビリ。あの期間が本当に苦しかった」と振り返る。

懸念のりハビリで何とか間に合わせた。だが4番を任せられて重圧がかかっていた。歴代の4番を考えたら偉大な先輩ばかりですから」と悩み体重も3キ減らしたという。

苦しいのが早大1回戦だった。1点を追う6回1死1、三塁で中前に放った同点打。「もう気

持ただけで打ったヒットでした。あの一打で吹っ切れた。自分の野球をやればいんだ」と

その後は4番として大暴れ。重責を立派に果たした。大学選手権ではゴイチに訪れたOBの広澤克実氏や鈴木文雄コーチのアドバイスをもらいフォームを変更、トップの位置を早めに決めて構えた。すると初戦の福井工大では3ランを含む4打点。その後も打ちまくって大会の首位打者(538)を獲得した。

「マサト(森下)の元で優勝したいと思ってやってきました。本当にほっとしました」

副主将。努力と苦悩が北本を大きく成長させた。

全試合先発陶山 攻守で躍動!!

〇…全国の舞台で4試合ともスタメンで起用されたのが2年生の陶山。初戦の福井工大戦では2点を追う4回に反撃の適時打を放つなど、全試合にヒットを記録。東洋大戦では森下の完封をアシストする左翼からの好返球で勝利に貢献。リーグ戦のレギュラー奪取にアピールした。

日本一戦士が「タカミメロン」

〇…決勝戦には多くのOBも駆けつけた。土井淳駿台倶楽部会長はじめ、フォークの神様といわれた杉下茂先輩(93)も姿を見せ後輩の活躍を見守った。

前回日本一に輝いた38年前のOB有志からは大会前に120個ものメロンが差し入れされた。茨城の「タカミメロン」で、「高みを目指せ」の意味も込

第68回全日本大学野球選手権大会トーナメント表

明大	9-2
上武大	5-3
福井工大	3-0
中京学院大	8-7
桐蔭横浜大	7-1
東洋大	5-1
近大工学部	6-5
龍谷大	3-2
大体大	3-2
高知工科大	8-1
福岡大	1-0
星槎道都大	8-2
城西国際大	6-1
東北福祉大	1-0
大工大	6-1
大創大	4-3
佛大	4-3
八戸学院大	4-1
東日本国際大	7-3
愛知工大	6-4
九産大	2-1
大商大	2-1
日本文理大	4-3
東海大	4-3
立命大	2-1
環太平洋大	7-2
宮崎産業経営大	7-2

(2)

添田打率.400首位打者

法大3回戦で3の3固め打ちで大台 「常に5割を目指している」



リーグ戦中に左足太もも痛めるもテーピング巻き強行出場した不屈の男
秋も打線けん引任せる

東大1回戦でサヨナラ打を放つ添田
打率.400で初の首位打者を獲得した

守備で成長できた

シーズン最終戦となった法大3回戦。1回に左前に安打を放つと、3回には中前打、5回にも中前に連打、3打数3安打。添田は塁上で自信の笑みを浮かべた。それまで打率3割にいた男が固め打ちで打率を一気に4割の大台に乗せ、早慶戦に臨む加藤(早大)・柳町(慶大)にプレッシャーをかけた。そして2人が打率を落とし、添田が昨秋の渡辺佳明(楽天)に続く首位打者の栄光に輝いた。

「常に5割を目指しているんです。4打数2安打。目標は高くないとダメでしょ。チーム全体としてレギュラー総入れ替えで不安の方が大きかったけど、少しは引張っていかないと」

1年70と小柄な左打者。打撃センスは入学時から光っていたが、問題は守備。今季は遊撃、二塁をこなして試合で失策はわずか1本。本人も「守備で成長できた」と思う。手として初のベストナインに輝いた。リーグ戦中は左足太ももを痛め、テーピングを巻いて試合に臨んだ根性男。秋も添田・丸山の1、2番コンビは相手の脅威になるのは間違いない。

善波「裏のMVP」丸山「神足」で好プレー連発



善波監督から裏のMVPと言われた丸山の守備は「一品だ」

驚異的な俊足を生かした守備と相手内野陣を泣かせた内野安打。今季から2番・中堅に定着し、リーグ戦初出場ながら打率.318の13位。盗塁こそなかったが、安打14本中8本が内野安打。すべて内野安打の猛打賞が2回も記録するなど、打ってからの一塁へのスタートは、神足とのニックネームがついた。

善波監督は丸山について「裏のMVPはマルだ。アイツの守備がなかったら、これだけの連勝はできなかった」と最大級の評価を与えた。右中間、左中間の抜かれた「ノ」と思った打球を一直線に落地点に向かいスライディングキャッチ。何度投手陣を救ったことか。慶大2回戦では6回に1点を返されなお2死二塁で中前打をストライク返球。大ピンチを救い連勝につながった。

しかし本人は反省ばかりが口をついた。「まだまだレベルに追いついてません。打ち損じや場面に応じた打撃ができません」とシーズンながら本意な打撃に涙を流した。悔しさを成長への証。日米大学野球の日本代表メンバーにも選出され、U18以来の日の丸に袖を通した。まだ2年生。秋にはチームの中心になるべく汗を流す。

内山「不本意」 ○…3番に座った内山は打率こそ.261に終わったが、二塁打4本、三塁打3本とチャンスで長打を打ちチームを勢いづかせた。「不本意なシーズンでした。頭が突っ込みバットが遠回りするクセが修正できなかった」と反省。「秋に向けてフォームを見直します」と早くもラストシーズンに目を向けていた。

西野好リード ○…開幕2試合こそ2年の篠原にスタメンを譲ったが、3試合目からは最上級生の西野がマスクをかぶり投手陣をリードした。「悔しかったけど、必ず」

竹田4勝

防衛率1.96も規定投球回数122足りず



2戦目先発の役割果たすも
最長5回まで
「もつと信頼される投手にならないと」

春秋連覇へ
体力面強化
先発して森下と並ぶ4勝をマーク。優勝に大きく貢献した竹田は自信とともに反省を口にした。

「勝てたのは自信になりましたけど、規定投球回には届かなかった。もつと信頼される投手にならないと」

4勝0敗。開幕の立大戦で森下が敗戦投手となり迎えた2回戦。負けられない戦いの中でリーグ初勝利。

2回を投げただけだった。「終盤まで投げてくれる体力面も含め夏に鍛えて秋はもっと頑張ります」竹田の頑張りなくしては連覇はあり得ない。長野・高森キャンプやオーブン戦で鍛え抜くつもりだ。



慶大2回戦で自身初の本塁打が満弾!!

入江「やっと」リーグ戦登板17戦目で初勝利

○：リーグ戦登板17試合目で入江が望みの1勝をものにした。しかも優勝を決めた法大2回戦だから価値ある白星だ。0-7から反撃を開始し、7回から登板。2イニングを完全に抑え森下につなげた。試合後は優

1年生もデビュー

○：リーグ戦、大学選手権で1年生も出場した。優勝を決めた法大2回戦では日置(日大三)長南(八戸学院光星)がともにリーグ初安打初打点を記録。岡本創志(西園)も代打で起用された。西山(履正社)は先発遊撃で出場を果たし、養尾(日南学園)は「優勝捕手」を経験。富田(智弁和歌山)も守備で起用された。リーグ戦未経験ながら大学選手権でスタメンDHで起用された上田(日本航空石川)は左の大谷選手。ヒットは記録できなかったが、全員がこの秋に意欲を見せていた。

ベストナイン3人

東京六大学野球春季リーグ戦のベストナインに3選手が選出された。全員が初受賞。

＜投手＞森下 颯 (4年=大分商) 満票一初。4勝1敗、防御率2.03。

＜一塁手＞喜多 真吾 (4年=広陵) 7票一初。打率.364、1本塁打、8打点。

＜二塁手＞添田 真海 (4年=作新学院) 11票一初。打率.400=首位打者、0本塁打、2打点。

ベストナインと表彰選手

項目	選手名 (所属)	票	回
投手	森下 颯 (明)	満	初
捕手	小藤 翼 (早)	7	7
一塁手	喜多 真吾 (明)	11	11
二塁手	添田 真海 (法)	11	11
三塁手	本村 龍也 (早)	8	9
遊撃手	松岡 雅太 (早)	10	10
外野手	安藤 虎太郎 (法)	8	8
首位打者	添田 真海 (明大)	400	
最優秀投手	田中 誠也 (立大)	1.80	
最優秀防御率	田中 誠也 (立大)	1.80	

※満票は14。回は受賞回数

打者成績10傑

選手名	所属	打率	試	打	安	点	困
① 添田 真海	(明)	.400	12	40	16	2	0
② 森下 颯	(早)	.396	13	48	19	12	3
③ 早大 田中 誠也	(早)	.378	12	45	17	9	2
④ 早大 松岡 雅太	(早)	.375	11	32	12	7	1
⑤ 喜多 真吾	(明)	.364	12	44	16	8	1
⑥ 早大 本村 龍也	(早)	.362	13	58	21	8	2
⑦ 早大 安藤 虎太郎	(早)	.361	13	47	17	16	2
⑧ 早大 松岡 雅太	(早)	.354	13	48	17	13	2
⑨ 早大 田中 誠也	(法)	.341	13	44	15	7	2
⑩ 早大 松岡 雅太	(法)	.339	13	56	19	10	4

投手成績

選手名	所属	防	回	試	勝	敗	責	順
① 田中 誠也	(立)	1.80	55	7	3	3	11	1
② 森下 颯	(明)	2.03	53 1/3	8	4	1	12	2
③ 早大 田中 誠也	(早)	2.09	51 2/3	8	3	1	12	3
④ 早大 松岡 雅太	(早)	2.76	45 2/3	8	7	4	1	4
⑤ 早大 本村 龍也	(早)	3.38	24	4	1	2	4	9
⑥ 早大 安藤 虎太郎	(早)	3.92	41 1/3	2	1	2	4	18
⑦ 早大 松岡 雅太	(早)	4.33	27	2	2	2	13	13
⑧ 早大 田中 誠也	(東)	5.14	28	6	8	0	3	16
⑨ 早大 松岡 雅太	(東)	9.00	28	7	0	0	4	28

春季リーグ戦勝敗表

校名	明	大	慶	早	立	法	東	勝	敗	分	勝率
① 明大	●	○	○	○	○	○	○	10	1	1	.909
② 慶大	○	●	○	○	○	○	○	8	4	0	.667
③ 早大	○	○	●	○	○	○	○	7	6	0	.538
④ 立大	○	○	○	●	○	○	○	6	6	0	.500
⑤ 法大	○	○	○	○	○	●	○	4	8	1	.333
⑥ 東大	○	○	○	○	○	○	●	0	10	0	.000

優勝祝賀会に人!!人!!!900人が祝福



春季リーグ戦、全日本大学野球選手権大会優勝の祝賀会が7月28日、東京・港区のグラントプリンスホテル新高輪「飛天」で盛大に行われた。OBを中心に900人がお祝いに駆けつけ選手たちの拳を称えていた。

笑顔の2時間
人、人、人。38年ぶりに日本一に輝いた選手たちを祝おうと、全国各地からOBたちが駆けつけた。大学からは土屋恵一朗学長、柳谷孝理理事長はじめ関係者に校友会、高校、大学、社会人、プロ

野球関係者ら900人が会場を埋め尽くした。壇上上がったチームを代表して井上崇通野球部長、善波達也監督、森下暢仁主将にチアリーダーから花束が贈られ大きな拍手が沸き起こった。善波監督は「ラグビーが日本一になり選手たちに火をつけてくれた」と22年ぶりに大学選手権を制したラグビー部に感謝した。そして「コート、トレーナー、球場管理、食堂の人たち、野球部に関わったすべての人に感謝しかありません」と壇上から頭を下げた。もちろん全面人工芝になり、練習環境も整ったことも優勝の大きな要因だった。

昨年の選手権優勝の東北福祉大・大塚光二監督は「善波さんのお祝い。来るしかないでしょ」と仙台から駆けつけると、善波監督の厚い手を握りながら「善波さん、皆さんの前で優勝を報告できてうれし



優勝パレードで笑顔を見せる善波監督らナイン

◆訃報 明大野球部OBの野瀬昌三先輩(昭29年卒)、桜井一美先輩(昭36年卒)篠沢靖雄先輩(昭38年卒)金岡康男先輩(昭39年卒)今久留主久成先輩(昭62年卒)がお亡くなりになりました。心からご冥福をお祈りします。

善波監督すべての人に感謝

分のコース。チアリーダーを先頭に善波監督に選手らが徒歩で沿道のファンに笑顔で応じた。その後に行われた優勝報告会では教室に入りきれず、2教室を開放して中継するなどの、野球部の快挙にキャンパスは盛り上がり

都市対抗出場のOBたちを激励
第90回都市対抗野球に出場するOBの激励会が7月11日、明大のアカデミーコモンで行われた。トヨタ自動車の今井崇夫野球部GM兼部長と選手18人が出席。土井淳駿台倶楽部会長、井上崇通部長から激励を受けた。善



都市対抗野球に出場するOBたち

マネジャー5人入部
右保井(成田)日々の生活をしっかりと送り、周りから信頼される人間になりチームに貢献します。

◆鈴木一真(明中八王子)多くの人の出会いに感謝し、様々な経験を通じてチームに貢献したい。

◆大崎美穂(延岡)日々の一歩前進を積み重ね、チームの力になれるよう頑張ります。

◆小田彩花(修猷館)自分がチームのためにできることを精いっぱい頑張りたいと思います。

◆陣井勇(九段中等教育)チームに貢献できるように精進していきたいです。

東京六大学2019年春季リーグ戦Play Back

新人戦
3勝1敗1分
明大が3勝1敗1分を挙げた。4勝が優勝条件のため法大に1敗したが痛く1位ながら優勝預かりとなった。

◇4月20日 神宮第2(1回戦 立大1勝)
(安打) 101 001 12 111 8
明大 000 000 000 000 0
立大 000 112 00X 4
(安打) 100 234 00 10

◇4月21日 神宮第1(2回戦 1勝1敗)
(安打) 000 212 000 5
立大 000 102 000 3
明大 003 100 00X 4
(安打) 102 310 00 7

◇4月22日 神宮(3回戦 明大2勝1敗)
(安打) 100 001 130 6
明大 000 001 030 4
立大 000 000 010 1
(安打) 100 000 012 4



早大和野2発5打点
明大が後半の集中打で逆転勝ちした。1点を追う明大は6回、北本、喜多の長短打で3点奪い逆転。7回にも丸山、喜多の長短打などで4点を挙げ勝負を決めた。森下は8回1失点の好投。早大は早川が終盤つかまり、9回の反撃も実らず。(観衆9,000 曇)

入江法大2回戦好救援!!
リーグ戦初勝利
完全V
明大が先勝した。初回、添田、丸山の連打で好機を築き、北本が先制の2点二塁打。7回と9回は内山がいずれも適時打を放つなど確実に加点した。先発の森下は2失点で完投。慶大は郡司の1号ソロなどで反撃したものの、及ばなかった。(観衆12,000 晴)

◇4月27日 神宮第2(1回戦 明大1勝)
(安打) 210 111 003 9
早大 100 000 002 3
明大 000 003 40X 7
(安打) 010 004 40 9

◇4月28日 神宮第1(2回戦 明大2勝)
(安打) 011 202 020 8
明大 000 200 030 5
早大 200 100 000 3
(安打) 301 100 100 6

◇5月11日 神宮第2(1回戦 明大1勝)
(安打) 022 000 002 0 6
東大 000 000 000 0 0
明大 000 000 000 1 1
(安打) 101 000 001 2 5

◇5月12日 神宮第1(2回戦 明大2勝)
(安打) 302 100 103 10
東大 403 000 001 8
明大 010 000 010 2
(安打) 020 020 030 7

◇5月18日 神宮第2(1回戦 明大1勝)
(安打) 300 011 202 9
明大 200 000 201 5
慶大 000 000 110 2
(安打) 100 111 211 8

◇5月19日 神宮第1(2回戦 明大2勝)
(安打) 000 313 111 10
慶大 000 101 000 2
明大 040 000 00X 4
(安打) 030 000 00 3

◇5月25日 神宮第1(1回戦 1分)
(安打) 000 001 022 5
法大 000 000 031 4
明大 200 001 001 4
(安打) 311 111 201 11

◇5月26日 神宮第2(2回戦 明大1勝1分)
(安打) 201 323 221 16
明大 000 221 210 8
法大 601 000 000 7
(安打) 413 101 000 10

◇5月27日 神宮(3回戦 明大2勝1分)
(安打) 110 200 210 7
法大 000 000 200 2
明大 000 300 00X 3
(安打) 201 210 00 6

明大が最大7点差を逆転勝ちした。3回までに7点を奪われたが4回から反撃。代打・日置の適時打などで2点を返すと5、6、7回も得点して同点。8回には代打・松下の適時二塁打で勝ち越した。9回は救援した森下が3者凡退に抑えた。(観衆10,000 晴)

明大が1点差をしのいで、勝ち点5の完全優勝を決めた。4回に四球から喜多、松下の連続適時二塁打とスクイズで3点を先取した。竹田が5回無失点で4勝目。法大は7回に宇草の4号2ランで追い上げたが、反撃も及ばなかった。(観衆1,000 晴)

島岡物語 休載



全日本大
学選手権で優勝
後、森下(左)と握
手を交わす善波監督
(右)ナインから胸
上げされる



38年ぶり、6度目の大学日本一を達成した善波
達也監督。試合後38年の歴史が過ぎました
と名言を吐いた。監督就任12年目で初の選手権制
と名言を吐いた。監督就任12年目で初の選手権制

「もはや
不思議な
勝ちが
続いた
この
笑いの
瞬間」

覇。イノシシを復活させ、経験の少ないチームをリ
ーク完全Vに導いた名采配。初戦黒星から14連勝に
至った戦いを振り返ってもらった。

4年生、よくまとまってくれた

「ダブル優勝おめでと
うございます。」

善波監督(以下善波)
春のシーズンは不思議な
勝ちが続きました。経験
のある選手はマサト(森
下)くらい。ただ学生野
球は4年生、よくまとま
ってくれました。

リーグ戦はいきなり
立天に完封負け

善波 あの日試合
後、ロッカーでマサトが
涙ながらに「きょうは本
当に申し訳ない。明日み
んなの力で勝って、3回
戦は必死に投げるから投
げさせてください」と頭
を下げた。すると3年生
の公家が「やりましょ
よ。みんなやりましょ
う」と実にいいタイミ
ングで叫んだ。この一声
で全員が「そうだ、やっ
てやろうぜ」と。さすが
公家は横浜。タイミング
がわかってる(笑)あ
れで仕切り直しができた
感じがします。

善波 3年前くらいか
ら復活させたいと同年代
のOBと話していまし
た。昨年の12月、井上(崇
通)先生(野球部長)が来
年は多年。今しかないで

リーグ優勝で喜ぶ応援席



「効果絶大？」
善波 もうイノシシの
パワーでしょ(笑)

春の経験をどう生かしていくか

善波 丸山の守備は助
かった。あの守備がなか
ったら10連勝は厳しかっ
た。添田も遊撃をしまか
りこなしてくれたし首位
打者にもなった。喜多、
内山、西野の4年生が頑
張った。

善波 組み合わせを見
て、伊勢を2番手にしな
いと勝てないと。西嶋(コ
イチ)がよく見てくれて
球威が戻った。伊勢、東
洋大のマサトで優勝の流
れができました。

善波 1年生に楽しみ
な選手も多いし、夏はい
い競争になりそうです。
秋はどんなメンバーにな
るか。春の経験をどう生
かしていくかしっかり準
備したいと思います。

善波 丸山の守備は助
かった。あの守備がなか
ったら10連勝は厳しかっ
た。添田も遊撃をしまか
りこなしてくれたし首位
打者にもなった。喜多、
内山、西野の4年生が頑
張った。

写真協力 スポーツニッポン新聞社

☆紙面編集 齋木 駿

コーチ陣支えた

善波監督を支える
コーチ陣も感激に浸っ
た。ベンチに入る田中武
宏コーチは週末のたびに
神戸から上京。寮に寝泊
まりし、試合では指揮官
に的確なアドバイスを送
った。

首位打者の経験もある
鈴木文雄コーチは夜中ま
で打ち込む選手に付き合
い親身になって指導。大
学日本一の日は誕生日と
重なり胸上げのあと、選
手から歌のプレゼントも
受けた。今年から正式に
就任した西嶋一記コーチ
は投手担当。伊勢復活に
「西嶋あり」だった。

就任9度目優勝
完全V5回目

善波 12年ぶり、今季で12
年目を迎えた。就任直後
の08年春に10勝2敗の完
全Vを飾った。これまで
9回のリーグ優勝、その
うち完全Vは5回目。今
回の全日本1回、神宮大
会は2回の優勝。計3度
チームを日本一に導い
た。リーグ通算は179
勝103敗17分、勝率は
.6315。

善波 12年ぶり、今季で12
年目を迎えた。就任直後
の08年春に10勝2敗の完
全Vを飾った。これまで
9回のリーグ優勝、その
うち完全Vは5回目。今
回の全日本1回、神宮大
会は2回の優勝。計3度
チームを日本一に導い
た。リーグ通算は179
勝103敗17分、勝率は
.6315。